

**令和5年度幕別町地球温暖化対策推進委員会
第2回審議会 議事録**

【開催日時，場所，出席者】

日 時	2023年10月2日（月）14:00～15:30					会 場	幕別町民会館	
委員長	梅津 一孝	○	委 員	佐藤 博志	○	事務局	佐々木 英行	○
委 員	岡坂 和春	○	委 員	宇佐美 純一	○	事務局	古市 智也	○
委 員	三島 均	○	委 員	楠 美智子	×	委託会社	西田 功児	○
委 員	林 勝也	○	委 員	西山 修一	○	委託会社	大西 宏実	○
委 員	伊藤 光一	○	委 員	山崎 和夫	○	委託会社	今城 裕里	○
委 員	牧村 克司	×			○	委託会社	大橋 正知	○
委 員	刈谷 繁美	○	事務局	寺田 治	○	委託業者	長谷川 啓一	○
委 員	橋本 靖博	×	事務局	山岸 伸雄	○	委託業者	小瀬澤 美希	○
委 員	神山 央	○	事務局	井上 一成	○			

○：出席，×：欠席

【配付資料】

資料：再エネ導入に係るゾーニングについて

幕別町ポテンシャルマップ

幕別町ゾーニングマップ（素案）

令和5年度幕別町再生可能エネルギー導入区域設定業務のうち共同型畜産バイオマスプラント導入に向けた意向調査（素案）

【議事内容】

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 議題

（1）幕別町再エネ導入区域設定に係るゾーニング案について

ゾーニングマップの概要として、ゾーニングマップについて、活用、作成イメージや作成上の条件について説明を行った。また、作成の実施方針として、作成の流れ、エリアの設定方法についての説明を行った。ポテンシャルマップ、ゾーニングマップ（素案）を用いて現段階でのゾーニング案を示した。

＜ゾーニング案に対する意見＞

① 伊藤委員

- ・木質バイオマスのマップ等で、促進エリアに市街化調整区域が含まれているが、市街化調整区域を外すか、このような施設であれば建設してよいのか考慮する必要があるのでは
- 市街化調整区域については、開発抑制し、法律に沿って実施する。最終的なマップ作成時には、市街化調整区域を考慮してエリア分けをしていく（事務局）

② 三島委員

・ゾーニングマップの保全エリア、事業性エリア、促進エリア、調整エリアと資料①（P11）の保全エリア・調整エリア①・調整エリア②がわかりにくかった。調整エリアの①と②はどのように決めているのか

- ゾーニングマップでは、大きく保全エリア、促進エリア、調整エリアに分けている。地域資源を最大限に活用しできる限り再生可能エネルギーの導入を進めたい観点から、調整エリアについては、2つに分け、事業性エリアを調整エリア②、調整エリアを調整エリア①としている（委託会社）

③ 岡坂委員

・畜産バイオマスのゾーニングマップについて、国道38号線の南・北側が促進エリアとなっているが、畜産資源からの距離は考慮していないのか。

- 事業性の詳細検討の際には、運搬距離が重要となってくるので、設置場所を選定する際には考慮の必要がある。ゾーニングマップ素案P7に示している、促進、調整、保全エリアについては、牧場からの距離は考慮していない。発電所設置時の社会的・自然的環境のみを考慮。ポテンシャルマップと重ね合わせるにより、具体化していく。しかし、課題として、牧場がたくさんあったとしても、促進エリアにはできず、調整エリアとする必要のある場所も出てくるとおもわれる。この場合、考慮事項を明記しゾーニングマップの素案を提示する（委託会社）

④ 梅津委員長

・畜産バイオマスは酪農が中心となると思われるので、乳牛と肉牛を分けたほうがよいのでは

- 次回乳牛と肉牛を分けた場合のポテンシャルマップを示す（委託会社）

4. その他

（1）幕別清陵高校でのワークショップの開催について
実施目的、ワークショップ案についての説明を行った。

（2）畜産バイオマスのポテンシャル把握に係るアンケートの実施について
アンケートの実施目的、アンケート内容の概要について説明を行った。

（3）次回の開催時期について
11月中旬頃の開催を予定

5. 閉会

以上